

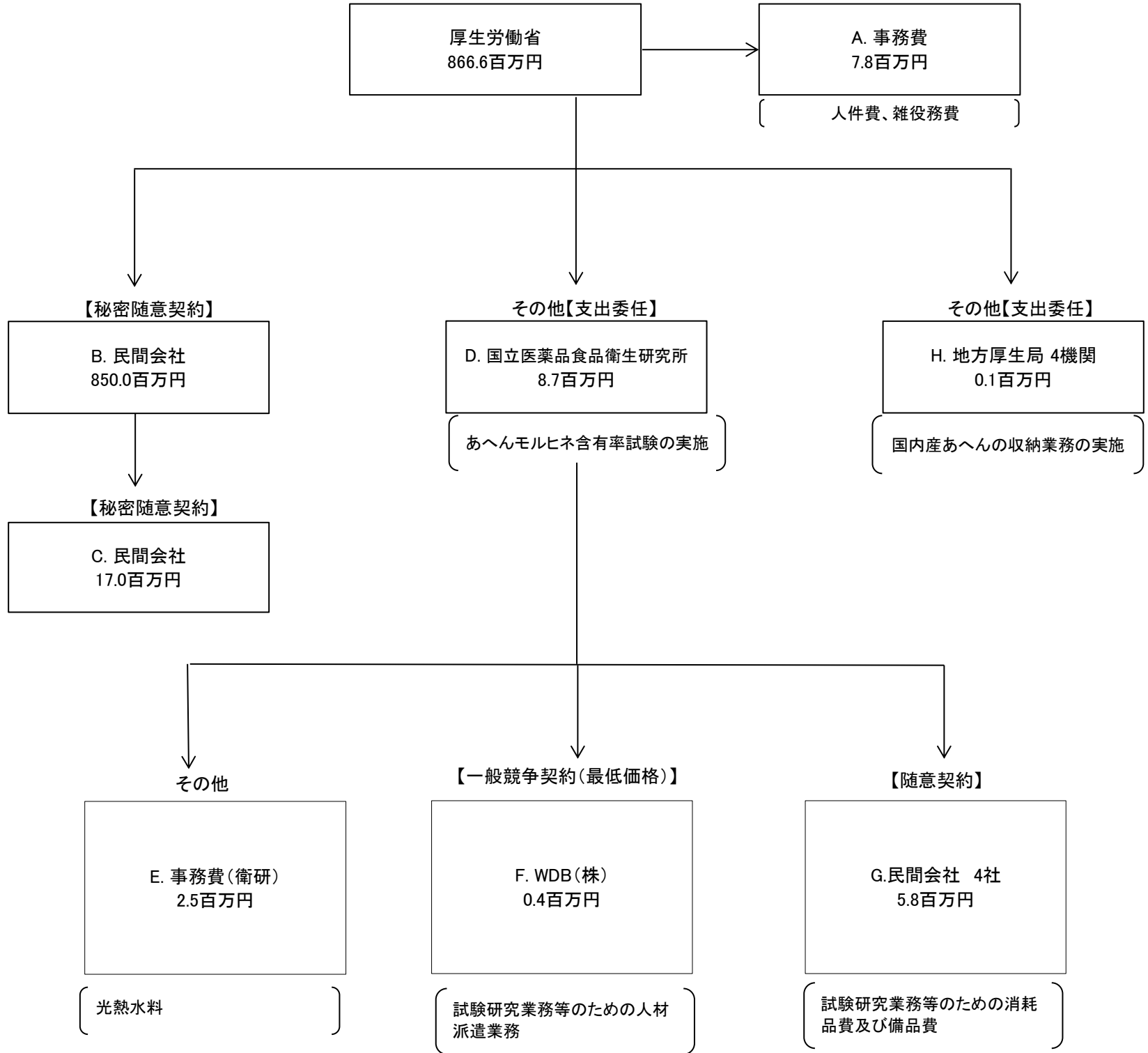
平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	あへん供給確保事業			担当部局	医薬・生活衛生局			作成責任者	
事業開始年度	昭和60年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	監視指導・麻薬対策課			課長 磯部 総一郎	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	あへん法第2条、第6条、第32条、第33条			関係する計画、 通知等	がん対策推進基本計画				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	医療及び学術研究の用に供する「あへん」の供給の適正を図るために必要な事業を行う。 (注)1961年の麻薬に関する単一条約は、あへんの海外からの購入・輸入等は国が独占するよう求めている。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	1 医療上必要不可欠な医薬品の原料である「あへん」を、国内の需要・供給量を踏まえ、インド政府及び国内のけし耕作者より購入し保管する。 2 あへんの国内価格決定を行うため、インド政府から購入した「あへん」のモルヒネ含有率試験を実施する。 3 国内産あへんの収納業務及び災害補償業務を実施する。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	943	943	923	687	684		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	58	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	▲ 58	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		943	885	981	687	684		
	執行額		911	882	867				
	執行率 (%)		97%	100%	88%				
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		97%	94%	94%					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	あへん購入費	667	664	あへん購入費の減					
	あへん等取扱業務庁費	18	18						
	あへん需給調査旅費	2	2						
	各所修繕	0	0						
	けし耕作者災害旅費	0	0						
	計	687	684						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	麻薬製造業者からの需要 に対する供給	売渡件数	成果実績	件	11	3	5	-	-
			目標値	件	12	7	5	-	4
			達成度	%	91.7	42.9	100	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	平成29年度外国産あへん購入費の積算内訳、平成29なあへん購入の見積書、平成28年輸入あへん合計量								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	必要見込みに基づくあへん確保量		活動実績	kg	77,940	78,600	90,000	-	
		当初見込み	kg	93,540	81,445	80,376	54,327		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	当該年度のあへん供給確保費の執行額(千円) / 当該 年度のあへん確保量(kg)		単位当たり コスト	千円/kg	11.7	11.2	9.4	12.3	
		計算式	千円/kg	91,1590/77,940	882,171/78,600	849,925/90,000	666,877/54,327		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	麻薬・覚醒剤等の乱用を防止すること									
	施策	規制されている乱用薬物について、不正流通の遮断及び乱用防止を推進すること									
	測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標年度 年度
					実績値	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
		定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)				
						-	施策の進捗状況(実績)				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	医療上必要不可欠な医薬品の原料である「あへん」を、国内の需要・供給量を踏まえ、国が一元的に輸入・管理することにより、不正流通の遮断及び乱用防止を推進することに寄与するものである。										
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-							
(第一階層) KPI		KPI (第一階層)				単位	計画開始時 年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
					成果実績	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)				単位	計画開始時 年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
					成果実績	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
事業所管部局による点検・改善											
国 必 要 投 入 の 事 業 の 効 率 性	項 目				評 価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	あへんは医療上必要不可欠な医薬品原料であり、広く国民のニーズがある。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	あへん法に基づき、国が輸入等を行うこととなっている。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	医療上必要不可欠な医薬品の原料を確保するため、優先度の高い事業である。					
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	あへん購入については、業務の性質による必要性から秘密随意契約としているが、その他の支出については適切に支出先を選定している。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。				有						
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	輸入業務代行料については、各種データを精査し、見直しを図っている。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				○	あへんの取り扱いについては、特に注意を必要とするため、輸入業務代行については予算決算及び会計令99条に基づく契約としている。					
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	経費の大半があへん購入費であり、適正に執行されている。						
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				○	あへんを原料とするあへん系麻薬については、原料をあへんから、けしがら濃縮物(CPS)への切り替えを予定しており、製造可能な品目から移行しているところ。このため、当初見込んでいた必要とするあへん購入費の支出が予定を下回ったため。						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-	-						

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	麻薬製造業者の需要には応えられている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	あへんの輸入等は国が行うこととされており、試験についても国が実施することから、効率的に実施されている。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	予算内で必要量のあへんを確保した。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	確保したあへんについては麻薬製造業者に売払い、医療上必要不可欠な医薬品の原料として活用されている。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-					
	所管府省名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	平成25年度から27年度は、大幅な円安等の影響により、あへん確保量の実績値が目標を下回ったことから、平成27年度においては予算を繰り越して対応した。なお、平成28年度から、あへん系麻薬の原料をあへんからけしから濃縮物(CPS)へ切り替えを開始したことにより、コスト削減につながった。					
	改善の方向性	国内で必須の医療用麻薬の原料を供給するための経費であるが、あへん系麻薬の原料をあへんからけしから濃縮物(CPS)へ切り替えを予定しているが、今後も医療用麻薬は必要のため、必要量を精査し、適正な執行に努めてまいりたい。					
<b>外部有識者の所見</b>							
引き続き適正に事業執行に努めること。(横田 響子)							
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>							
現状通り	医療上必要なあへんを確保するための経費であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。						
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>							
現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。						
<b>備考</b>							
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>							
平成22年度	344	平成23年度	312	平成24年度	271		
平成25年度	324	平成26年度	335	平成27年度	346		
平成28年度	342						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・用途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.事務費			D.国立医薬品食品衛生研究所		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
賃金	非常勤職員給与	4.9	消耗品費	試験研究事業等のための消耗品費	4.9
			光熱水費	電気・ガス・水道使用量	2.5
			備品費	試験研究事業等のための備品費	0.9
			雑役務費	試験研究業務等のための人材派遣業務	0.4
計		4.9	計		8.7
E.事務費(衛研)			F.WDB(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
光熱費	電気使用料	1.7	雑役務費	試験研究業務等のための人材派遣業務	0.4
計		1.7	計		0.4
G.(株)バイオテック・ラボ			H. 北海道厚生局		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
備品費	試験研究事業等のための備品費	2.8	旅費	あへん収納のための旅費	0
計		2.8	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	非常勤職員	-	非常勤職員給与(賃金)	4.9	その他	-	-	
2	セコム(株)	6011001035920	倉庫保全業務	1	随意契約(少額)	-	100%	
3	職員A	-	職員旅費	0.8	その他	-	-	
4	職員B	-	職員旅費	0.3	その他	-	-	
5	東京電力エナジーパートナー(株)	8010001166930	電気使用料(光熱費)	0.2	その他	-	-	
6	フロンティア(有)	9040002048439	麻薬倉庫廻り草刈作業及び建物屋上清掃作業	0.2	随意契約(少額)	-	100%	
7	日植アグリ(株)	5260001000547	栽培にかかる肥料代	0.2	随意契約(少額)	-	100%	
8	(株)サンワ	1050001015512	切傷刀	0.1	随意契約(少額)	-	100%	
9	第一法規(株)	7010401017486	インターネット版判例体系(刑事法編)年間利用料金	0.1	随意契約(少額)	-	100%	
10	NTT東日本埼玉料金サービスセンター	-	電話使用料(通信費)	0	その他	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	民間会社	-	(秘密随意契約)	850	随意契約(その他)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	民間会社	-	(秘密随意契約)	17	随意契約(その他)	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立医薬品食品衛生研究所	-	あへんのモルヒネ含有率試験(支出委任)	8.7	その他	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東京電力エナジーパートナー(株)	8010001166930	電気使用料(光熱費)	1.7	その他	-	-	
2	東京ガス(株)	6010401020516	ガス使用料(光熱費)	0.4	その他	-	-	
3	東京都水道	8000020130001	水道使用料(光熱費)	0.4	その他	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	WDB(株)	4010001143256	試験研究業務等のための人材派遣業務	0.4	一般競争契約(最低価格)	2	81.8%	

